

大谷学会

◇研究発表会

十月二十六日(金) 午後一時～

於 響流館メディアホール
知的障害のある子どもに対する「就学支援システム構築」の現状と課題
—子どもに寄り添った就学支援について—の検討— 本学教授 安田誠人
文化地質学の提唱 本学教授 鈴木寿志

勇気から起こる風—アビゲルマにおける信仰についての整理と解釈—
本学准教授 箕浦暁雄
懺悔道としての浄土真宗 本学准教授 藤原正寿

真宗総合研究所

◇委員会

七月二十日(金) 午前十時～

於 博綜館第四会議室

・東方仏教徒協会一部改正(案)について

・中国蔵学研究センターとの協定締結について

・その他

十月十日(水) 午後四時二十分～

於 博綜館第四会議室

・特別研究員の新規委嘱について

・研究組織の変更について

・『真宗総合研究所研究紀要』第三十六号について

・東京分室PD研究員公募について

十一月二十二日(木)

午後〇時十五分～

於 博綜館第四会議室

・『真宗総合研究所研究紀要』第三十六号投稿論文の査読結果について

◇私立大学研究ブランディング事業
ワーキングチーム会議

八月二日(木) 午前十時～

於 博綜館第四会議室

・外部評価について

・オープンキャンパスでの活動

・HP作成について

真宗学会

◇第二回例会

十月三日(水) 午後二時四十分～

於 尋源講堂

親鸞における真門開顕の意義

本学大学院博士後期課程第二学年

樋口大慈

『歎異抄』第十三章と親鸞消息の関係

本学大学院博士後期課程第一学年

鶴留正智

◇第三回例会

十月十日(水) 午後二時四十分～

於 尋源講堂

『大般涅槃經要文』推考

—「不定」の思想について—

本学大学院博士後期課程第一学年

柏樹貴弘

親鸞思想における智慧と智識

—「真仏土巻」を徹底するもの—

本学大学院博士後期課程第一学年

◇第四回例会

十月二十四日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

親鸞における仏道の「あゆみ」について
—「一念」と「十念相続」の関係から—

本学大学院博士後期課程第二学年

常塚勇哲

大涅槃の「界」としての真仏土

—撰取の具体性—

本学大学院博士後期課程第二学年

松岡淳爾

◇大会

十月三十一日(水)午後三時

於 尋源講堂

真宗学とは何か

—如来の呼びかけを聞く学び—

本学教授 一楽 真

実践真宗学の姿勢—ビハラー活動と臨

床宗教師研修の実際—

龍谷大学教授 鍋島直樹

◇修士論文中間発表会

十一月七日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

宿業と三願転入について

塩谷佳信

此土と彼土—曇鸞『浄土論註』における不虚作住持功德を通して

巖 若琳

親鸞の還相回向観

本多正弥

◇第五回例会
十一月十四日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

親鸞の法華一乘説への態度

—一乗釈の引文を中心にして—

本学大学院博士後期課程第一学年

廣田 至

◇第六回例会

十一月二十一日(水)

午後二時四十分

於 尋源講堂

『浄土論註』『二法句』と菩薩の善巧撰化

について

本学大学院博士後期課程第二学年

池田向一

浄土真宗における「出遇い」の意義

—「教行信証」「教卷」を中心に—

本学大学院博士後期課程第二学年

村上無量

◇卒業論文中間発表会

十一月二十九日(木)午後六時

於 慶開館K二〇五教室

法然の念仏観

三木ゼミ 佐々木健

諸仏称名之願

木越ゼミ 山雄優生

道場にひらかれる教化の精神—真宗門徒に学ぶ—

井上ゼミ 渡辺裕香

親鸞における還相回向

聞の仏道

◇第七回例会(教員発表)

十二月十二日(水)午後二時四十分

於 尋源講堂

『歎異抄』と清沢満之

本学講師 西本祐攝

◇ 仏 教 学 会

◇研究発表例会

十一月二十二日(木)

午後四時二十分

於 響流館マルチメディア演習室
Vinaya-sangraha 研究序説

本学任期制助教 岸野亮示
「ブツは輪廻を説いたのか」という再
三議論されてきた問題について改め
て考える

◇史跡踏査
本学准教授 新田智通

十一月二十八日(水)
訪問先・海龍王寺・興福寺

◇公開講演会
(奈良県奈良市)

十二月三日(月) 午後四時二十分
於 響流館メディアホール

因明研究の現状と課題
花園大学文学部教授 師 茂樹

西洋哲学会・倫理学会

◇秋季公開講演会(朴一功教授最終講義)
十二月十三日(木) 午後六時

於 尋源講堂
魂の不死について

本学哲学科教授 朴一功

社 会 学 会

◇公開講演会

十一月七日(水) 午後一時

於 響流館メディアホール
インターネット相談の現状
相談ツールとして果たす役割と機
能について考える

臨床心理士・東京都特別公務員ス
クールカウンセラー・一般社団法
人日本のちの電話相談委員

坂井あずみ

十二月六日(木) 午後一時

於 慶開館K三〇四教室
矯正の現状と課題 地域とのつながり
地域資源の活用 の模索

京都拘置所所長 西岡慎介

国史学会・日本仏教史学会

◇大谷大学日本史の会大会・総会
七月二十八日(土) 午後二時三十分

於 響流館メディアホール
・研究発表(午後二時四十分)

教育委員会所属三年目の私の仕事

佐々木佑里香

うきたむ考古資料館の入館者増加に向
けた取り組み
鈴木亜美

再考・清和(太上) 天皇と仏教
駒井 匠

・総会(午後四時五十分)
於 響流館メディアホール

・懇親会(午後五時二十分)
於 慶開館マルチスペース4F南

◇大谷大学日本史の会十月例会
十月二十七日(土) 午後二時

於 響流館演習室三
市民学芸員と行う古文書整理作業

―大東市立歴史民俗資料館の事例―
大畑博嗣

◇大谷大学日本史の会十二月例会
十二月一日(土) 午後二時

於 響流館演習室三
大学立平和博物館における教育普及活
動

安川美希

文藝学会

◇公開講演会

七月十日(火)午後一時～

於 響流館メディアホール

表現が掘り起こす感情

— 近現代詩における剽窃と継承 —

本学教授 國中 治

見えないものを表現すること

京都大学大学院教授 宇佐美文理

◇『文藝論叢』第九十一号発行

(十月A5判八十八ページ)

七寺本『清浄法行經』の「飄刻」と「訓

讀」をめぐって—「清浄ならざる行

い」を中心に— 野村卓美

泉鏡花「龍潭譚」論—子供の自立と母

親像— 日高朱理

安部公房『砂の女』論—物語と想念—

菅 純一

『元音統領』における増補字について

浦山あゆみ

日本語教科書における授受表現—「て

くれる」と「てもらう」を中心に—

中国文学会

崔 沢慧

◇卒業論文中間発表会

十一月二日(金)午後四時二十分～

於 博綜館H三〇二教室

『駱駝の祥子』から

老舎の描く男性像について

岡田紗織里

◇学術公開講演会

十二月四日(火)午後二時四十分～

於 響流館メディアホール

近代中国女性の服飾

— 近代旗袍の誕生 —

関西学院大学教授 成田静香

英文学会

◇学会

十二月十三日(木)午後二時四十分～

於 慶聞館K四一四教室

〈研究発表〉

入れ替わる女たち— Edith Wharton の

〈手紙〉モチーフ再考

本学任期制助教 野末幸子

〈卒業論文中間発表〉

ジョン・スタインベック『怒りのぶど

う』 大岩尚輝

カズオ・イシグロ『私を離さないで』

大谷奈々

国語教育学会

◇第六回研究大会

十一月十日(土)午後一時五十分～

於 五号館五一〇一教室

生徒指導を踏まえた言語活動

— 明日も来なくなる学級づくり —

京都市公立小学校常勤講師

赤井将太

深い学びを目指した国語単元学習の在

り方

神戸大学附属小学校教諭

増永雄一郎

少人数学級の体育授業における言語活

動の充実

帯広大谷短期大学准教授

高瀬淳也

短期仏教科

◇第二学年卒業研究中間発表一夜研修会

十月十日（水）～十一日（木）

於 湖西キャンパスセミナーハウス

第二学年の一夜研修会を開催。十一月

三十日の卒業研究の提出に向けて、中

間発表会と、教員を交えての懇談会を

行った。

